

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日まで事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧ください。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧ください。

☆☆☆ 新高一の諸君へ ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧ください。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆ 来年度変更される事柄 ☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日まで事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

☆☆☆新高一の諸君へ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧下さい。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆来年度変更される事柄☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日までに事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

☆☆☆新高一の諸君へ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧下さい。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆来年度変更される事柄☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日まで事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

☆☆☆新高一の諸君へ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧下さい。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆来年度変更される事柄☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日までに事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

☆☆☆ 新高一の諸君へ ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧下さい。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆ 来年度変更される事柄 ☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日までに事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

☆☆☆新高一の諸君へ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧下さい。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆来年度変更される事柄☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日までに事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧下さい。

☆☆☆新高一の諸君へ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧下さい。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。
なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆来年度変更される事柄☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。

※新中二・三（現中一・二）―Ⅱ

高校受験のない国立・私立中学に在籍している新中二・三の諸君は、選択受講が認められます。進級申込用紙に希望する科目を記入の上、一月二十五日までに事務まで提出して下さい。

新中三の諸君は、七月までは一般クラスに編入されていますが、夏期講習以降は、高一クラスに編入されます。なお、数学で既に夏前に終了している高一の分野に関しては、補講を実施する予定です。

※新高二（現高一）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で数学を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

なお、理科・社会の講座は高二から高三対象の講座を受講できます。現役生は弱くなりがちな理科・社会です。受験科目を早めに決定して、受験準備に取りかかりましょう。なお、受講に際しては、担当講師との面談が必要ですので、事務まで御連絡下さい。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高二対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧ください。

※新高三（現高二）

新年度からの受講希望科目を、同封の進級申込用紙に記入の上、一月三十一日までに事務まで提出して下さい。

進級試験の科目は、一面に記載の通り、塾で理系科目を受講する場合は、英語・数学の二科目、それ以外は英語・国語の二科目になります。

設置科目の詳細に関しては、一月三十一日（日）の新高三対象の講座説明会及び同封の講座案内をご覧ください。

☆☆☆新高一の諸君へ☆☆☆

新高一（現中三クラス）に在籍している諸君の進級試験は、高校入試が終了してから実施するため、日程等が異なります。現中三生の諸君は、全員進級資格がありますので、左記に従って進級申込用紙をお出し下さい。なお、学習の継続性を重視して、新高一の担当は、常勤講師中心の配置で、主に現中三担当が持ち上がる形となります。

※申込方法

①同封の進級申込用紙に必要事項を記入の上、一月末日までに事務にお出し下さい。

②現時点で継続して通塾するか未定の場合は、進学先が決定してからの変更も可能です。キャンセルの場合は、二月二十五日までにご連絡下さい。

③高校の部は全学年、講座選択制となります。設置講座は、英語・数学・国語の三科目です。申込の際に、受講希望科目を記入して戴きます。

・設置科目の詳細に関しては、同封の講座案内をご覧ください。また、三月七日（日）に新高一対象の講座説明会を実施します。

※試験科目

英語・数学・国語
前記③の通り、講座選択制となりますが、試験は三科目となります。

※試験日程

高校受験終了後、三月末日までに随時受験して戴きます。それ以降は別途申込・受験料が必要になります。受験のない諸君は、二月七日となります。

※内部生優先事項

進級試験で合格基準点に到達しない場合でも不合格とせず、個人指導クラスで指導の上、一定の学力に達した後、一般クラスに編入する形を取ります。この優先事項は、継続して通う場合にのみ適用されますのでご了承下さい。

なお、継続して通塾する場合でも、再入塾の場合でも、入塾金は不要です。

☆☆☆来年度変更される事柄☆☆☆

・物理Ⅰ講座 指導形式の変更

物理Ⅰの講座は、以下の通り変更となります。
平常期間：一斉指導の講義形式ではなく添削形式の指導とします。生徒は、カリキュラムに従い、毎週指定の教材を自習した上で提出し、添削を受け、日曜日の特別個人指導の時間帯に個別に解説を受けます。

講習期間：従来通り講義形式の指導を行います。